

<令和5年度>

学位論文審査申請の手引

【特定の課題についての研究の成果（課題研究論文）を含む】

保健学専攻（修士課程）

信州大学大学院医学系研究科

修士課程の修了要件に定める，修士論文及び特定の課題についての研究の成果（課題研究論文）を合わせて，「学位論文」と表す。

令和5年度 保健学専攻（修士課程）学位論文審査の流れ

10月上旬	大学院係：最終年次生に「学位論文審査申請の手引」を配付， 指導教員に「学位審査委員会委員候補者名簿報告書」の提出依頼
12/14（木）まで	最終年次生：「学位論文題目届」を提出 指導教員：「学位審査委員会委員候補者名簿報告書」を提出 並びに 最終年次生の成績評価提出（特別研究以外の授業科目） 長期履修生：短縮申請をする場合は，この時まで「履修期間の短縮申請書」を提出
12/14（木）以降	主査：審査会の日時・会場を大学院係へ連絡 （審査会開催日の1週間前までに）
1/9（火）まで	最終年次生：「学位論文審査申請書」，「学位論文内容の要旨」 及び「修士論文又は課題研究論文（3部）」を提出 （高度実践看護師コースは，「課題研究論文」を提出）
1/10（水）以降	大学院係：主査・副査に「学位論文」，「学位論文内容の要旨」，「単位 修得状況表」を配付 並びに 「学位論文概評記入用紙」，「学位論文審査及び最終試験結果 報告書」及び「学位論文の概評及び最終審査結果の要旨」の提出依頼
2/5（月）まで	審査会の開催【公開】 大学院係：主査に審査会当日の資料「学位論文内容の要旨」を5部送付（資料は， 審査会終了後，回収する。） ①論文審査 ②最終試験 } ・口頭試問 学位論文発表会
2/6（火）	
2/13（火）まで	最終年次生：「修士論文又は課題研究論文」 最終原稿（2部）及びPDFデータを提出 指導教員：特別研究の成績評価提出
修了判定日（3/6） まで	大学院係：最終原稿PDFデータを保健学専攻委員会委員に公開
2/13（火）まで	主査：「学位論文概評記入用紙」（副査分を取りまとめ），「学位論文審 査及び最終試験結果報告書」及び「学位論文の概評及び最終審査結果 の要旨」を提出
2/28（水）	大学院委員会 修了仮判定
3/6（水）	保健学専攻委員会 修了判定

I. 提出資格

- 1年以上在学し、20単位以上修得した者
 (高度実践看護師(周麻酔期)コースにあつては、42単位以上修得した者)

II. 学位論文審査申請手続

- 12月14日(木)まで 学位論文題目届(様式1-1)
 学位審査委員会委員候補者名簿報告書(様式4-1)
- 1月9日(火)まで 学位論文審査申請書(様式2-1又は2-2)
 学位論文内容の要旨(様式3-1)
 修士論文又は課題研究論文 3部
 (学位論文が共著論文の場合には、併せて以下の書類も提出すること。)
 指導教員の証明書(様式A)
 共著者の同意書(様式B-1又はB-2)
- 2月6日(火) **学位論文発表会**
 時間:9時~16時(予定)
 場所:未定(後日通知します)
 発壇:1人15分(発表10分,質疑5分)
- 2月13日(火)まで 修士論文又は課題研究論文 最終原稿 2部
 (左肩クリップ留め,上質紙)
- 2月13日(火)まで 学位論文審査及び最終試験結果報告書(様式5-1)
 学位論文の概評及び最終審査結果の要旨(様式6-1)

【注意】

- 各様式のデータファイルは、信州大学大学院医学系研究科のホームページ/在学生の方へ/学位申請【修士(看護学又は保健学)】からダウンロードしてください。
- 様式4~6については、大学院係から指導教員及び主査に別途依頼します。
- 雑誌等に投稿した論文を修士論文(課題研究論文)として提出する場合、論文の本文は雑誌論文の体裁で提出することが可能です。論文本文の他は、指定する様式により作成し提出してください。

【雑誌等に投稿した論文について】

- 学位論文(課題研究論文)は、申請者単独の著作であつて、当該研究領域で権威ある邦文又は欧文雑誌に印刷公表又は受理されたものとする。ただし、次の要件をすべて満たす場合には共著論文を学位論文とすることができる。
- 当該研究領域で権威ある邦文又は欧文雑誌に印刷公表又は受理された論文であり、申請者が筆頭著者であること。
 - 研究及び論文作成の中心的役割を果たしたことが指導教員により証明され、共著者により同意されたものであること。(指導教員の「証明書」(様式A)及び、共著者の「同意書」(様式B-1又はB-2)の提出が必要。)

なお、「権威ある邦文又は欧文雑誌」とは以下のものとする。

- (1) Journal Citation Reports で Impact Factor (IF) がついている英文雑誌
- (2) 信州医学雑誌 (ただし英文論文に限る。)
- (3) その他, 保健学専攻委員会が認めた雑誌

A) 各分野から学位論文掲載可能な雑誌として推薦されたものを対象に審査し, 承認された場合は学位論文掲載雑誌として認める。

B) 学位論文掲載雑誌は以下の条件を全て満たす必要がある。

- ① 編集委員会・投稿規定・査読制度が整備されていること
- ② 邦文雑誌の場合には, 日本学術会議協力学術研究団体の発行する雑誌であること

現在, (3) として認定されている雑誌は以下のとおり

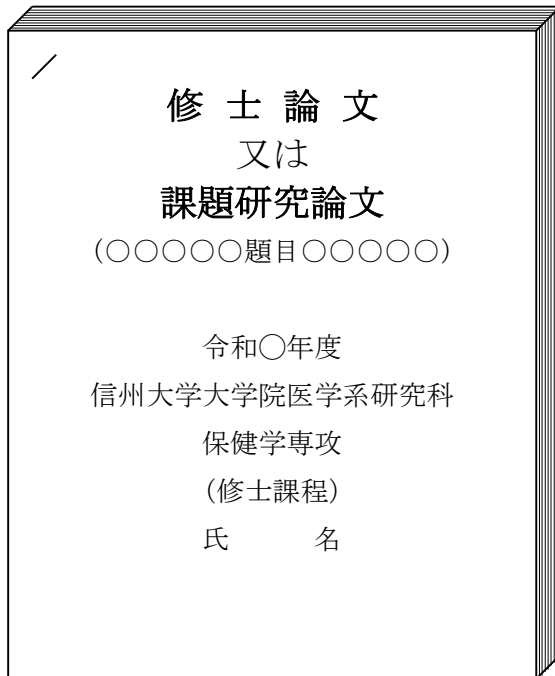
(令和5年4月現在)

• 日本看護科学会誌	• 日本精神保健看護学会誌
• 日本看護研究学会雑誌	• Asian Journal of Occupational Therapy
• 日本看護学教育学会誌	• 日本臨床検査医学会誌
• 小児保健研究	(The Journal of Japanese Society of
• 母性衛生	Laboratory Medicine)
• 日本助産学会誌	
• Physical Therapy Research	
• Journal of Physical Therapy Science	

- 学術雑誌に投稿した論文を修士論文 (課題研究論文) とした場合, 修士論文 (課題研究論文) と雑誌に掲載された論文は同一の論文とみなされるため, それらを研究業績として二重に計上しないよう, 注意してください。

Ⅲ. 学位論文作成要領

- ・雑誌等に投稿した論文を修士論文（課題研究論文）として提出する場合、論文の本文は雑誌論文の体裁で提出することが可能です。



注)

◎発表会前

左肩ホチキス留め 3部提出
 (厚い場合はクリップ留め可)

◎修士論文 又は 課題研究論文
 最終原稿

左肩クリップ留め
 発表会后、修正を加えたもの
 上質紙 2部提出

1. 規 格 A4縦 上質紙
2. 表 紙 作成例 3ページ参照
3. 目 次 作成例 4ページ参照
4. 本 文 パソコン, ワードプロを使用し, 片面印刷とする。

【和文】 論文題目 15ポイント MS明朝 中央寄せ
 本文書出し 10.5ポイント MS明朝 左寄せ
 横書き 1行36文字×30行
 左右3cm, 上下4cmの余白
 縦書き 1行36文字×30行(用紙横置き)
 左右4cm, 上下3cmの余白

【欧文】 論文題目 15ポイント Times 中央寄せ
 本文書出し 10.5ポイント Times 左寄せ
 1ページ30行

和文・欧文共に、本文からページ番号を下部中央に付ける。なお、ページ数の制限はない。

作成例（目次）

目 次

第1章 序論, はじめに, 目的等	1
1. 1 ○○○○○	1
1. 2 ○○○○○	2
第2章 材料, 方法, 対象等	3
2. 1 ○○○○○○○○	3
2. 2 ○○○○○○○○○	4
2. 2. 1 ○○○○○○○	4
2. 2. 2 ○○○○○○	5
2. 2. 3 ○○○○○○○	8
2. 3 ○○○○○○○○	10
2. 3. 1 ○○○○○○○○○○	10
2. 3. 2 ○○○○○○○○	13

以下同様の形式で

- 第3章 結果等
- 第4章 考察等
- 第5章 まとめ等
- 第6章 謝辞等
- 第7章 参考文献等

＜参考文献掲載例＞

和文著書

浦山 修, 奥村伸生, 森山隆則, 狩野元成, 原 諭吉. 診療支援と臨床化学検査結果の解析・評価. 浦山 修 他編, 臨床化学検査学第2版. pp417-424, 医歯薬出版(東京), 2006.

欧文著書

Nakahata T, Tuji K, Tanaka R, Muraoka K, Okumura N, Sawai N, Takagi M, Itoh S, Ra C, Saito H. Synergy of stem cell factor and other cytokines in mast cell development. Kitamura Y, Yamamoto S, Galli SJ, Greaves MW eds, Biological and molecular aspects of mast cell and basophil differentiation and function. pp13-24, Ravan Press (New York), 1995.

和文学術論文

廣田(川戸洞)雅子, 石川伸介, 藤原祝子, 若林早紀, 上條由夏, 山内一由, 寺澤文子, 奥村伸生, 勝山 努. 日常検査で遭遇する低フィブリノゲン異常症・欠損症の凝固スクリーニング検査結果の検討. 臨床病理 55: 989-995, 2007.

欧文学術論文

Okumura N, Terasawa F, Haneishi A, Fujihara N, Hirota-Kawadobora M, Yamauchi K, Ota H, Lord ST. B:b interactions are essential for polymerization of variant fibrinogens with impaired holes 'a'. J Thromb Haemost 5: 2352-2359, 2007.

信州大学大学院医学系研究科保健学専攻（修士課程）の学位論文
（修士論文又は特定の課題についての研究の成果）の審査
及び最終試験実施要項

（趣旨）

- 1 この要項は、信州大学大学院医学系研究科規程（平成16年大学規程77号）第14条第3項の規定に基づき、学位論文（修士論文又は特定の課題についての研究の成果）の審査及び最終試験の実施に関する手続について、必要な事項を定める。

（研究題目）

- 2 学位論文の題目は、指導教員の承認を得て、学位論文題目届（別紙様式第1-1）を修了年次の12月20日までに、研究科長に提出する。

（学位論文の提出）

- 3 学位論文は、学位論文審査申請書（別紙様式第2-1若しくは別紙様式第2-2）及び学位論文内容の要旨（別紙様式第3-1）1通（1000字程度）に正本1部及び副本2部を添え、審査を受けようとする年度の1月15日までに、研究科長に提出する。

（審査委員会）

- 4 指導教員は、3名以上の教授（必要と認めるときは准教授又は講師をもって代えることができる。）を学位審査委員会（以下「審査委員会」という。）委員候補者として、学位審査委員会委員候補者名簿報告書（別紙様式第4-1）により、1月15日までに、研究科長に推薦する。審査委員会は、信州大学大学院医学系研究科保健学専攻委員会（以下「保健学専攻委員会」という。）で承認された者で構成する。ただし、指導教員は審査委員会の主査となることはできない。

（学位論文の審査）

- 5 主査は、学位論文を受理後、速やかに審査委員会を招集し、学位論文を審査する。また、審査委員会が必要と認める場合には、資料の供覧及び審査委員会に学位論文の審査申請者の出席を求め、学位論文に関し質疑を行うことができる。

（最終審査）

- 6 審査委員会は、学位論文を中心として、これに関連ある科目について最終試験（口頭試問）を行う。また、学位論文の発表会は、指定された期日に主査を当該発表会の座長として、公開で行うものとする。

（最終審査結果）

- 7 最終の学位論文は、発表会等で指摘された点等を訂正し、2月20日までに審査委員会に提出するものとし、審査委員会は、学位論文の審査及び最終試験の結果を総合的に評価し、その最終審査を行い、合否判定の上、学位論文審査及び最終試験結果報告書（別紙様式第5-1）並びに学位論文の概評及び最終審査結果の要旨（別紙様式第6-1）を2月末日までに、研究科長に提出する。

(判定)

8 保健学専攻委員会は、学位論文及び最終試験の可否の判定を行う。

(報告)

9 研究科長は、前項により合格と判定された者について、修士課程の修了を認定し、学位授与を可とする者として、学長に報告する。

(学位論文の保存)

10 学位論文は、審査終了後正本1部を研究科に保存するものとする。

(雑則)

11 この要項に定めるもののほか、学位論文の審査及び最終試験の実施に関する手続に関し必要な事項は、保健学専攻委員会が審議決定する。

12 この手続に関する事務は医学部事務部において行う。

附 則

この要項は、平成19年7月5日から実施する。

附 則

この要項は、平成21年4月1日から実施する。

附 則

この要項は、平成21年7月2日から実施する。

附 則

この要項は、平成29年4月1日から実施する。

附 則

1 この要項は、令和元年9月4日から実施する。

2 令和2年3月31日に医学系研究科保健学専攻博士前期課程に在学する者については、この内規による改正後の規定「医学系研究科保健学専攻（修士課程）」を「医学系研究科保健学専攻（博士前期課程）」と読み替えて適用するものとする。

学生用

別紙様式第1-1

令和 年 月 日

信州大学大学院医学系研究科長 殿

保健学専攻

学籍番号

氏 名

分野
領域

押印
不要

学位論文題目届

学位論文題目を下記のとおりお届けします。

記

指導教員	
------	--

押印
不要

学生用

別紙様式第2-1

学位論文審査申請書

令和 年 月 日

信州大学長 殿

平成・令和 年度入学
信州大学大学院医学系研究科
保健学専攻

分野
領域

押印
不要

学籍番号

氏 名

生年月日

年

月

日

生

このたび、信州大学学位規程（平成16年信州大学規程第19号）第4条の規定に基づき、修士（看護学）の学位を受けたいので、下記の学位論文をご審査くださるよう申請いたします。

記

学位論文 題 目	
-------------	--

学生用

別紙様式第2-2

学位論文審査申請書

令和 年 月 日

信 州 大 学 長 殿

平成・令和 年度入学
信州大学大学院医学系研究科
保健学専攻

分野
領域

押印
不要

学籍番号
氏 名
生年月日 年 月 日 生

このたび、信州大学学位規程（平成16年信州大学規程第19号）第4条の規定に基づき、修士（保健学）の学位を受けたいので、下記の学位論文をご審査くださるよう申請いたします。

記

学位論文 題 目	
-------------	--

学生用

別紙様式第3-1

学位論文内容の要旨

学位論文提出者 大学院医学系研究科 保健学専攻 氏名	分野	領域
学位論文題目		

注:1000字程度

教員用

別紙様式第4-1

令和 年 月 日

信州大学大学院医学系研究科長 殿

押印
不要

指導教員 _____

学位論文提出者	
入学年度	平成・令和 年度入学
分野・領域	
学籍番号	
氏名	

学位審査委員会委員候補者名簿報告書

上記学生の学位論文の学位審査委員会委員候補者を下記のとおり選出しましたので報告します。

記

委員	所属	職名	氏名
主査			
副査			
副査			

教員用

別紙様式第5-1

令和 年 月 日

信州大学大学院医学系研究科長 殿

委員	所属	職名	氏名
主査			
副査			
副査			

押印
不要

学位論文審査及び最終試験結果報告書

入学年度	平成・令和	年度入学	学籍番号	
所属	保健学専攻	分野 領域	学位論文 提出者	
学位論文題目				
最終審査結果		審査年月日	令和	年 月 日

注：最終審査結果欄は，合格，不合格で記入すること。

修得単位	単位	修得見込単位数	単位	計	単位
------	----	---------	----	---	----

教員用

別紙様式第6-1

学位論文の概評及び最終審査結果の要旨

学位論文の 題 目			
入学年度	専攻	分野・領域	学位論文提出者
平成・令和 年度入学	保健学専攻		
委員	所属	職名	氏名
主査			
副査			
副査			

教員用

学位論文概評 記入用紙（副査用）

学籍番号

所属

論文提出者

研究題目

学位論文 に対する コメント	
----------------------	--

令和 年 月 日

副査

押印
不要

様式 A

証 明 書

令和 年 月 日

大学院医学系研究科長 殿

押印
不要

指導教員(署名) _____

学位論文 題目	
------------	--

_____氏が

上記の論文作成の中心的役割を果たしたことを証明します。

様式B-1

同 意 書

令和 年 月 日

大学院医学系研究科長 殿

押印
不要

共著者(署名)_____

学位論文 題目	
------------	--

上記の論文を_____氏が、信州大学修士（看護学）
の学位論文として提出することに異議はありません。

（論文は、1回限り学位請求論文とし、共著者が再度使用することはできない。）

様式B-2

同意書

令和 年 月 日

大学院医学系研究科長 殿

押印
不要

共著者(署名) _____

学位論文 題目	
------------	--

上記の論文を _____氏が、信州大学修士（保健学）
の学位論文として提出することに異議はありません。

(論文は、1回限り学位請求論文とし、共著者が再度使用することはできない。)